UNBOUND 2026 RECAP

誰でも作れる時代に、何が価値になるか

Constructing Your Story: AI Tools for Creative Teams

Alejandro Matamala Ortiz（共同創業者 兼 Chief Innovation Officer, Runway）

2026年9月16日（水）14:30-15:00 EDT ／ Main Stage

株式会社100

Alejandro Matamala Ortiz



Main Stageでの対談

9月16日。会場で撮影

登壇者

Alejandro Matamala Ortiz

共同創業者 兼 Chief Innovation Officer, Runway（動画生成AIの研究開発企業）

ニューヨーク大学のITP（アートと工学を混ぜたプログラム）で共同創業者2人と出会い、8年前にRunwayを創業。3人とも映画を撮りたかった側の人間で、うち2人はチリ、1人はギリシャの出身。当時の生成モデルの出力は256×256ピクセルだった。聞き手は、広告・映画の分野で15年のキャリアを持つエディター兼ディレクターの Matt Slamowitz。

Alejandro Matamala Ortiz

創業時の見立てと、いまの到達点

2018年の北極星

誰でも2時間の長編を作れるようにする

無謀だと言われた目標。2019年の短編『The Orange』はGANで1フレームずつ作っており、当時のモデルは学習した対象しか生成できなかった。

2026年の現在地

部品はそろった。難しいのは組み立て

実写風からアニメまで、長編を作っているチームは既に複数ある。1人でキャラクター・背景・効果音・脚本まで用意することは可能になった。残る難所は、見たいと思える一貫した物語にまとめ上げること。

この半年で採用が急に進んだ

変化の速さについて、具体例で語られました。

- 登壇者が2月に南米（ブラジル・チリ）を訪れたときは、業務にAIを使っている会社をほぼ見かけなかった。数か月後にはテレビCM・マーケティング・社内広報・オンボーディングに広がり、**クリスマス商戦の制作をすべて生成で回す前提**になっていた
- 3〜4か月前までは「提案のためにイメージを作る」段階だった。いまは本番制作に移っている
- 理由は品質。一貫性と整合性が上がり、ブランドから外れない出力が出せるようになった

Alejandro Matamala Ortiz

紹介された事例（米国の銀行）

自社の顧客を出演者に起用した広告シリーズ。以前は顧客本人を撮影していたため、量を作れませんでした。

広告の制作本数

年4本から。顧客の高解像度写真1枚が入力

週1 本

同じ広告1本あたりの制作コスト

削減幅

-80 %

企業名は伏せて語られました。

作るのは簡単になった。
見たいものを作るのは難しくなった。

It's getting easier to make things, but it's getting harder to make things that people want to watch.

聞き手 Matt Slamowitz からの問い ／ UNBOUND 2026

何が残る価値になるのか

01 30秒で済ませたものより、意図を込めたものが残る

なぜこれを作るのか、という問いを通した仕事が目立つようになる、という指摘。

02 同じことを速くやるために時間を使わない

10時間かかっていた作業が短縮されたなら、空いた時間は今までやれなかった方向の実験に充てる。制約があってできなかったことこそ試す。

03 センスは学べる。ただし学び方が違う

プロンプトの書き方ではない。歴史・建築・本・人の振る舞いを学び、それを実験に混ぜて、現実世界でどう効くかを確かめる。

Alejandro Matamala Ortiz

経営・マネジメントへの示唆

「1人で全部できるなら人を減らせるか」という問いの立て方が違う、と明言されました。問うべきは「この道具があるいま、うちのチームは何に挑戦できるか」。早い段階から社内で試し、メンバーの試作を称える運用をした会社ほど、結果が出ているという観察が共有されました。

Runwayが次に置いた目標

長編生成という北極星に近づいたため、新しい目標に置き換えたと説明されました。

- 世界そのものをまるごとシミュレートする。見た目だけでなく、物理の働き方や人の振る舞いまで含める
- 狙いは3つ。**映像・広告の出力品質、リアルタイムの没入体験とゲーム、ロボティクスと自律システム**
- モデルは教えていないのに、黄と青を混ぜれば緑になることを大量の動画から理解している。人には退屈な映像でも、一般化したいロボットには要る
- リアルタイム動画生成は「すぐそこ」。終わらない物語や、スポーツ中継に重ねる表現が視野に入る

この分野にいて居心地がいいなら、
何かを見落としている。

If you are working in this space and you feel comfortable, it's probably a sign that you are missing something.

Alejandro Matamala Ortiz ／ UNBOUND 2026